

できごと



消火訓練を実施

4月17日、神之浜二区自治会で消火訓練が行われました。

神之浜二区自治会内は、道路も狭く家屋が密集している地域であり、住民が自分たちで消火活動ができるようにと訓練を実施したものです。

当日は、早朝より住民30名が参加し、南部消防署職員5名の方から、消火栓と消火器を使った初期消火の指導を受けました。

なかでも、消火栓の開け方、ホースの結合、放水の仕方などでは、皆さん普段触れる機会が少ないので積極的に取り組んでいたようでした。

南部消防署では、住民からの要請があれば消火訓練などの指導を行っています。いつ火災が起きても対処できるように防火の意識を高めることはとても大切です。

移住記念を祝う

4月22日、桜原自治会で移住記念日祝賀会が行われました。

桜原自治会では、大正3年の桜島大爆発により移住して歴史を築いた先人に感謝し、毎年記念式典を行っており、今年で93回を迎えます。

祝賀会では、町の関係者や住民の方々が先人の労を慎み、1分間の黙祷をささげました。

移住記念をここまで継続して来れたのも、住民が協力しあい、助け合う心を先人より受け継いできたからの事です。

自治会長の宮下和志さんは「移住記念日を行事として続け、誇りを持って頑張っていきたい。」と話されました。



錦江湾遊覧に招待

4月19日、(有)南九船舶が特別養護老人ホーム青山荘の入所者の方々を錦江湾遊覧に招待しました。

なんきゅうフェリーは、昨年8月から旧大根占町と指宿市間を運航し、地域間交流の活性化を担っており、「お世話になっている地域に少しでも役立てば」と外に出る機会が少ない入所者の方々に招待しました。

当日は、入所者や利用者40名が7便に分かれて20分間、フェリーで錦江湾を遊覧し、乗船した方は「眺めもよく気持ちよかった。」と楽しいようすでした。

